



千葉県の新サンファーム育成舎向け
に完工したハイテム高品質ハウス



鶏舎内上部に取り付けられたリストラクター

ハイテム高品質ハウスシステム 新トンネル換気鶏舎用

主要部材は亜鉛ドブ漬け、丸洗い可能

東洋システム

東洋システム㈱(安田)

勝彦社長・本社・岐阜県各務原市金属団地九七一四)は、同社が基本設計を担当し、亜鉛ドブ漬けを担当し、鉄骨フレームをイストラエルのアグロトップ社、サンドイッチパネルを中国の建材メーカーである遠東パナールが生産して開発した新トンネル換気鶏舎用「ハイテム高品質ハウスシステム」の第一号を完工し、現在二号を建設中である。

同ハウスシステムは新

トンネル換気鶏舎用で、次の三点を特長としている。
①外柱方式とし、端部へのホコリ堆積を最小限にする。同時に、アウト時のクリーニング性能を向上。
②鶏舎内の最大の隠れ場所である天井裏をななくし、ネズミ対策と併せ鶏舎のクリーン性能を高め、同時にアウト時の丸洗いを可能にした。
③鶏舎丸洗いに對する耐久性を高めるため、

柱など主要部材はすべて亜鉛ドブ漬けにしている。
同ハウスシステムはコスト実現のため、海外工場から現場へのコンテナ搬入を原則としている。東洋システムでは、主力製品である内部設備の納入先と同社が連携している鶏舎建築会社と十分打ち合わせの上、同ハウスシステムが納入先にとってメリットが出るケースに限定して、レイヤードアローライズ鶏舎向けに普及を図りたいとしている。

③鶏舎丸洗いに對する耐久性を高めるため、